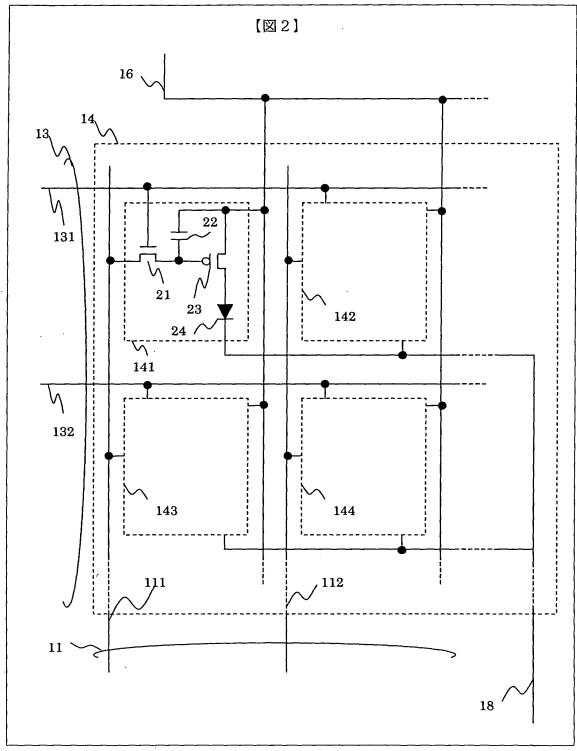


- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((税) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1. 図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

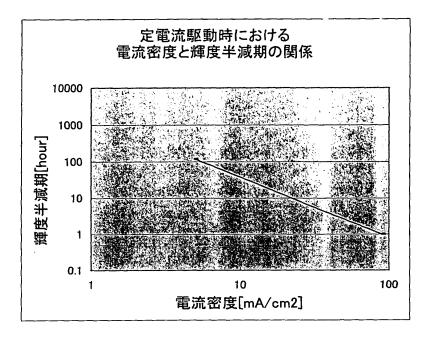
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号瓶に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200 dpl)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 塗りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上配に準じて作成する。



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上配枠内((板) 2 1 5 mm×(板) 1 4 8 mm)に納める。
- 8、図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

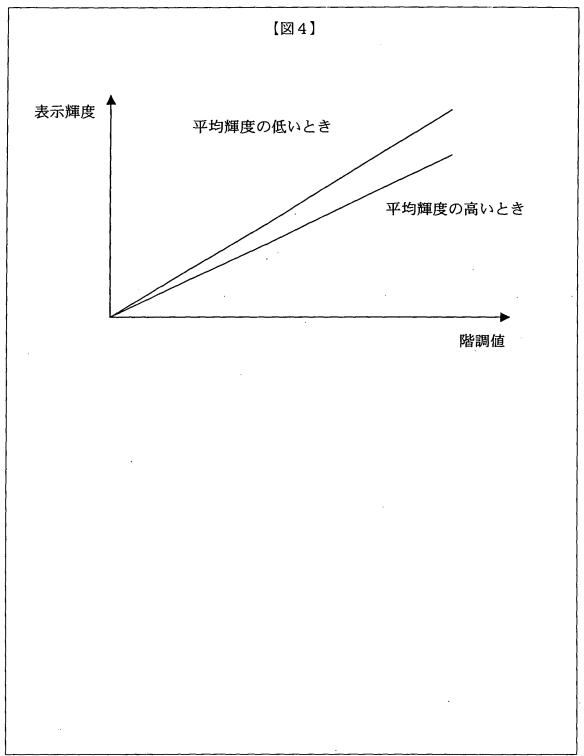
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連枝番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配徴する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 益りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上配に準じて作成する。

【図3】



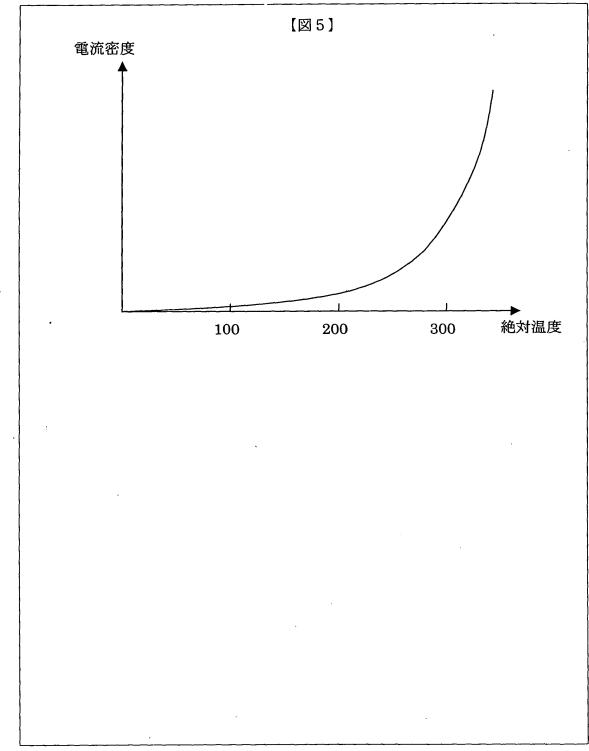
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200 dpl)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4、符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((城) 215mm×(城) 148mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。**益**りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



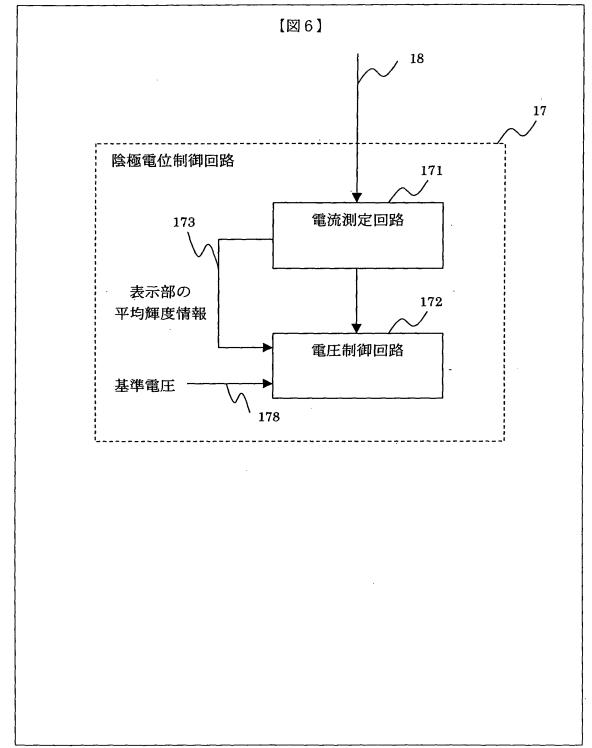
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1. 図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出額端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。独りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 安、数式も上記に準じて作成する。



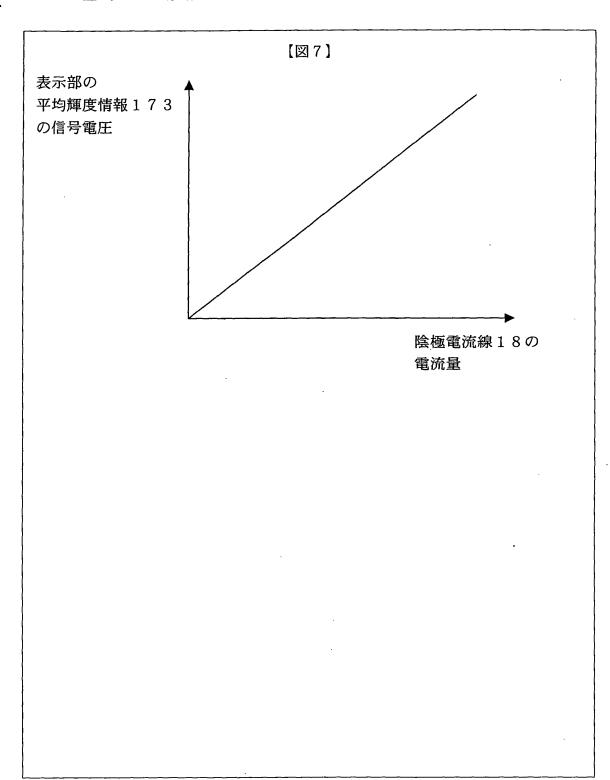
- 1. 発明の特徴を扱も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 фt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。独りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にブリントする。
 - 12. 扱、数式も上記に準じて作成する。

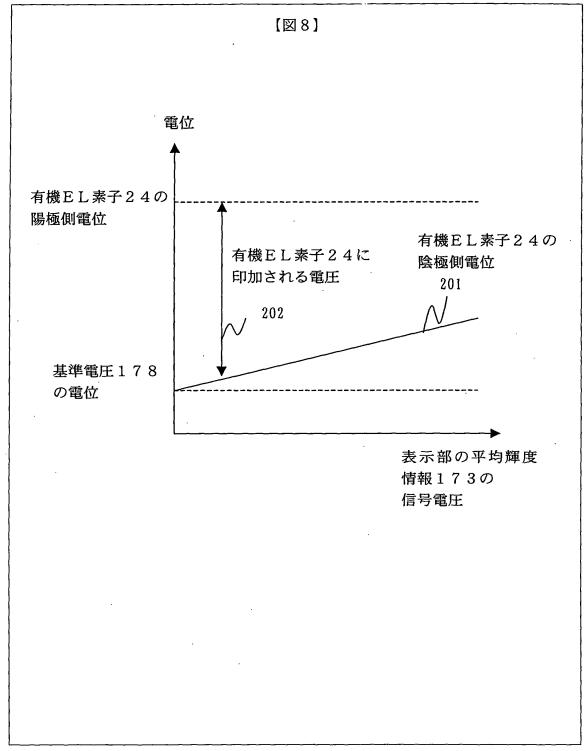


- 1、発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2、各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上配枠内((縦) 2 15 mm×(模) 1 48 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。**逸**りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

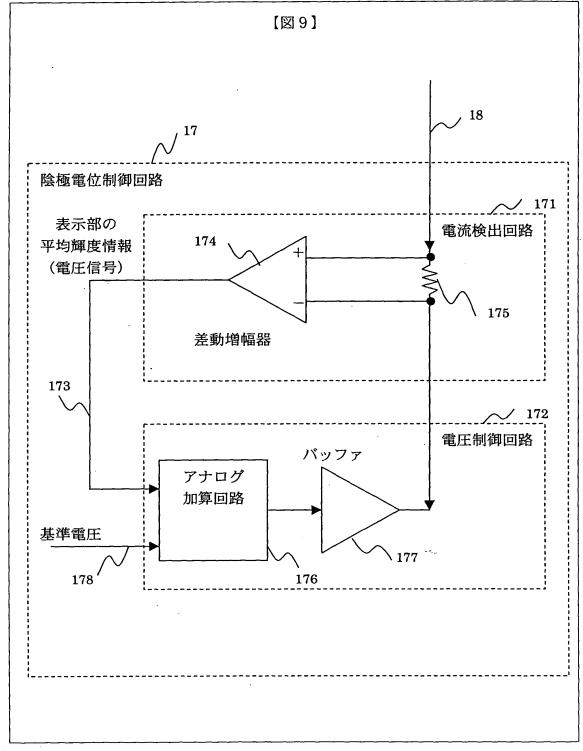


- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
- 7. 図面は上紀枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm)に納める。
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出原端末のイメージリーダ(200 dp1)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 塗りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12、表、数式も上記に準じて作成する。



- 1、発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連紋番号を付し、番号順に配列する。 1 0. 図面は電子出原端末のイメージリーダ(200 dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1. 図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは城方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 扱、数式も上記に準じて作成する。

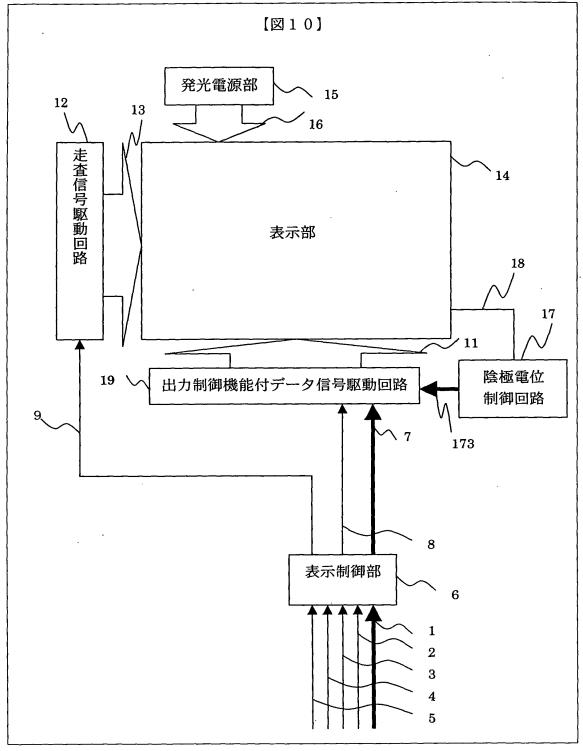


- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4、符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((版) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出幕端末のイメージリーダ(200 dpi)で競み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 斯面を示す部分には、ハッチングを施す。 **独**りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12、 表、数式も上記に準じて作成する。

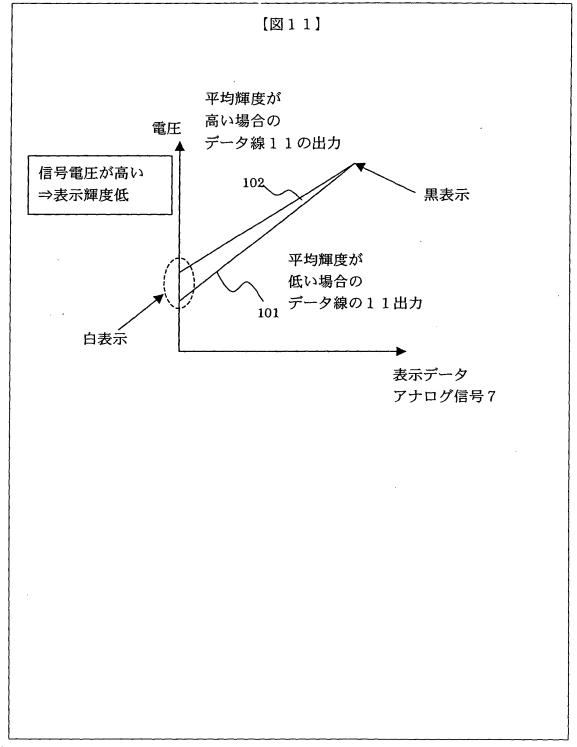
電子出願図面用紙

for windows



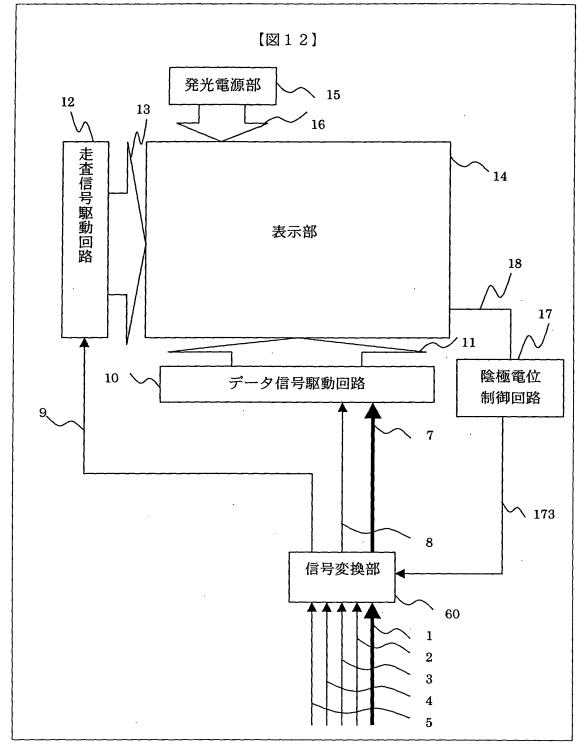
- 1. 発明の特徴を扱も良く表す図を図1とする。
- 2、各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200 向い)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3、中心線は配入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは成方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 **益**りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



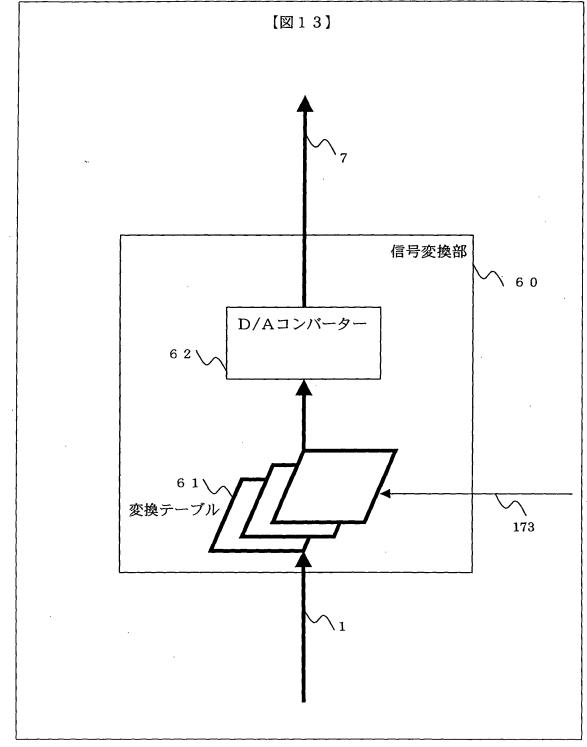
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は配入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号側に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200 tpl)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。捻りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 安、数式も上記に準じて作成する。



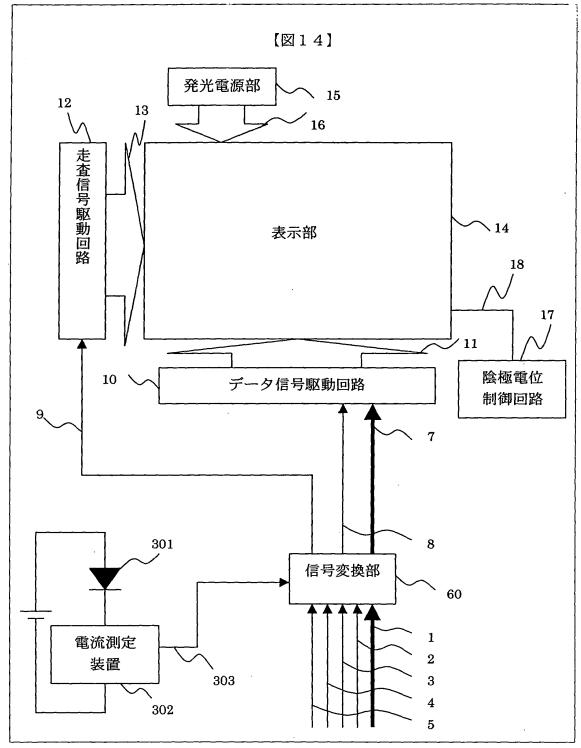
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号類に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は紀入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((成) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1. 図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



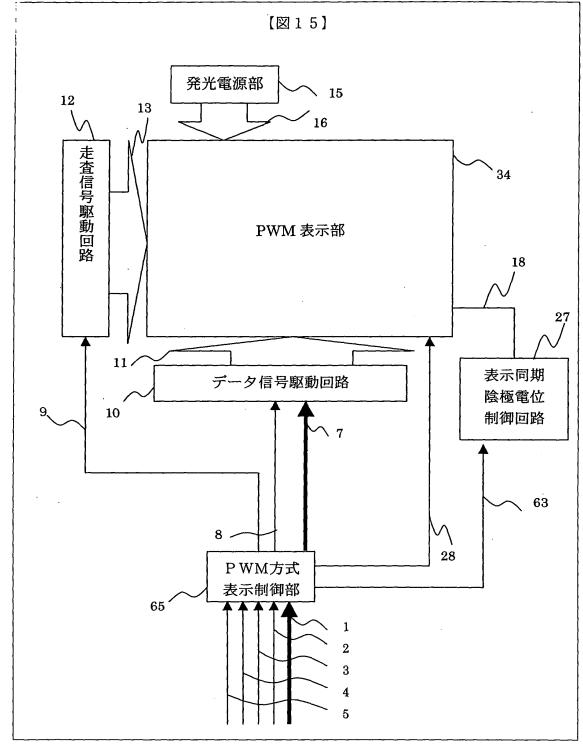
- 1. 発明の特徴を撮も良く表す図を図1とする。
- 3、中心躱は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2、各國ごとに、國の上側に國1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10、國面は電子出顧端末のイメージリーダ(200 中()で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



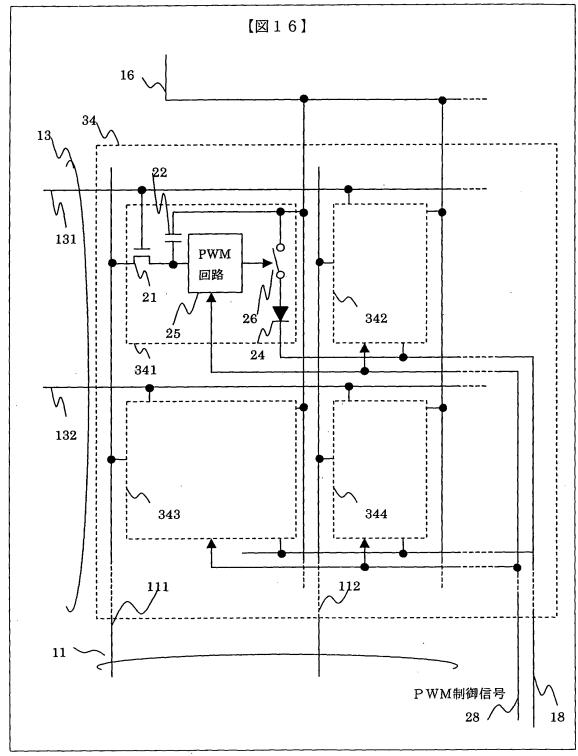
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((成) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出線端末のイメージリーダ(200 dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 **益**りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



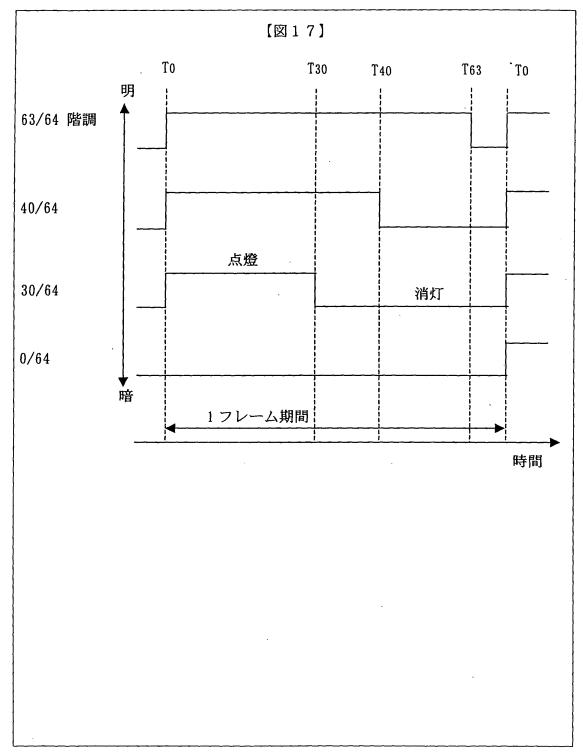
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連续番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出額端末のイメージリーダ(200 dpl)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm)に納める。
- ・8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 塗りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12、 表、数式も上記に準じて作成する。



- 1、発明の特徴を儀も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2 0 mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出版端末のイメージリーダ(200 dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b、断面を示す部分には、ハッチングを施す。 **盗りつぶしてはならない**。
 - 11、図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は配入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((成) 2 1 5 mm×(版) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2 0 mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連練番号を付し、番号類に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200 tpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 **塗り**つぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に収長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙

for windows

【図18】

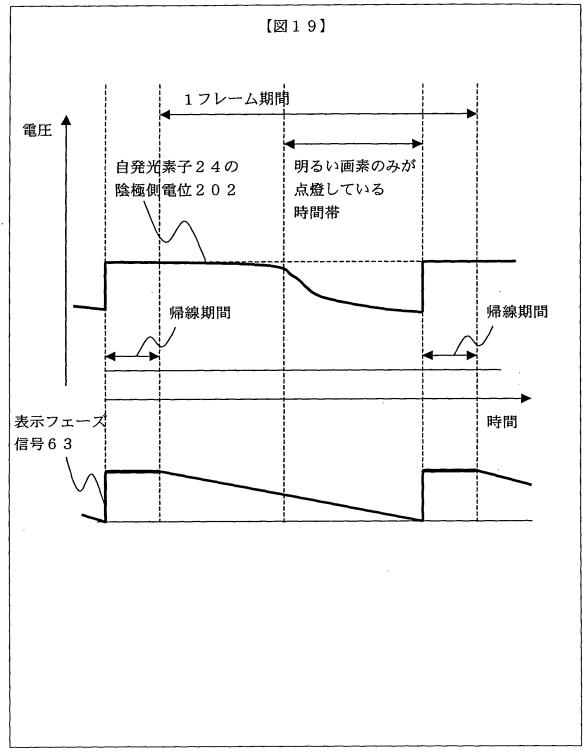
データ信号電圧	画素点燈時間
V63	Т63
V62	T62
·	•
	•
V ₂	T ₂
V1	T1
V ₀	То

 $V_0 \leq V_1 \leq V_2 \leq \cdots \leq V_{62} \leq V_{63}$

 $T_0 \le T_1 \le T_2 \le \dots \le T_{62} \le T_{63} \le 1$ frame

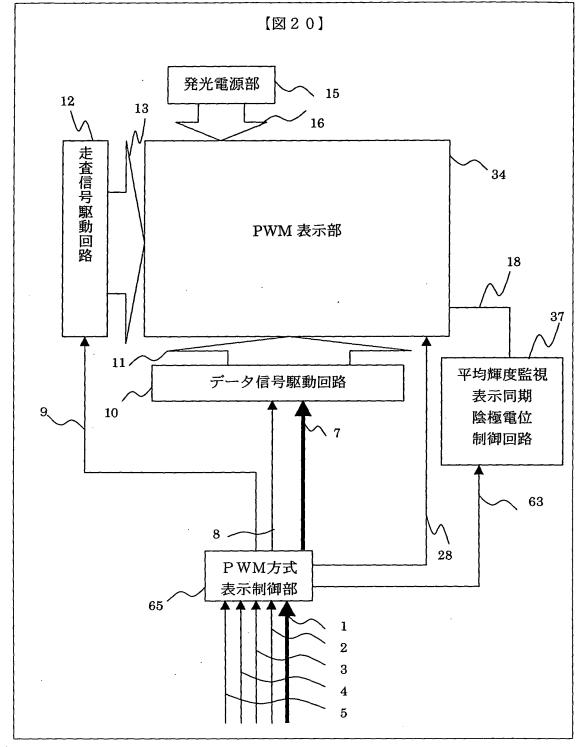
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2.15mm×(横) 1.48mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号類に配列する。 10. 図面は電子出稿端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 独りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にブリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



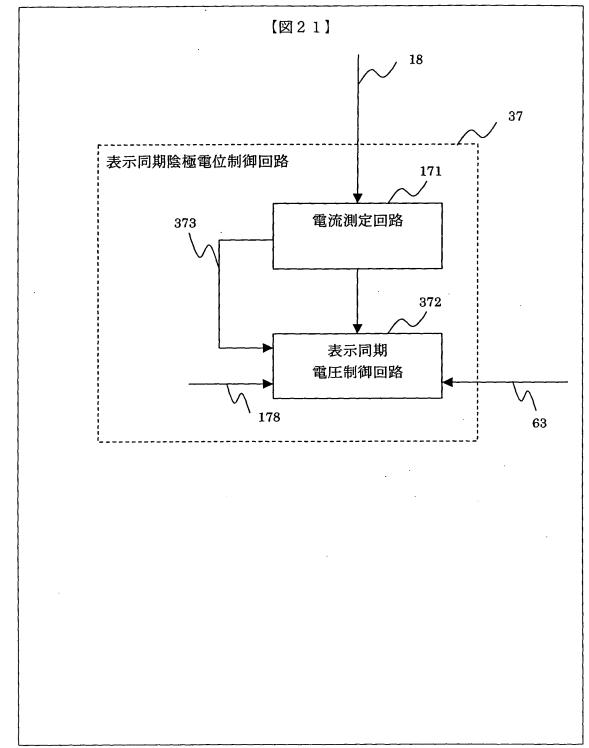
- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は配入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpt)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
 - 1 1. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

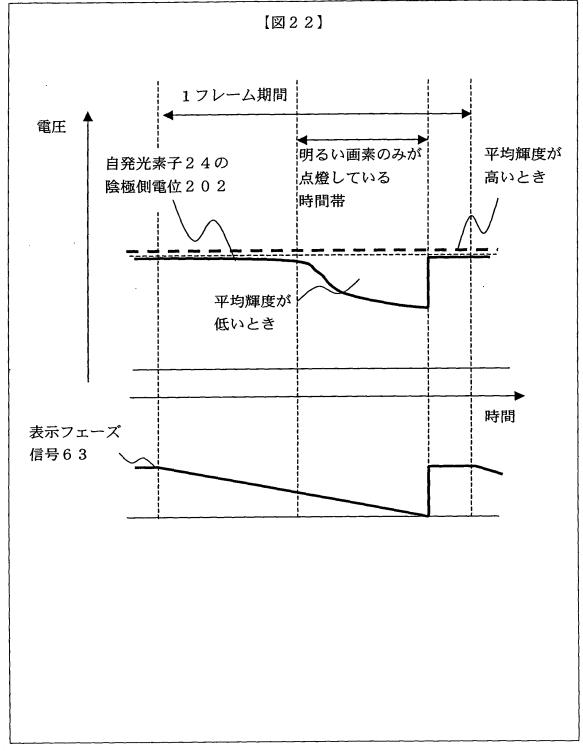
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは概方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号類に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 dpi)で競み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 表、数式も上記に準じて作成する。



- 1. 発明の特徴を扱も良く表す図を図1とする。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は紀入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(模) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

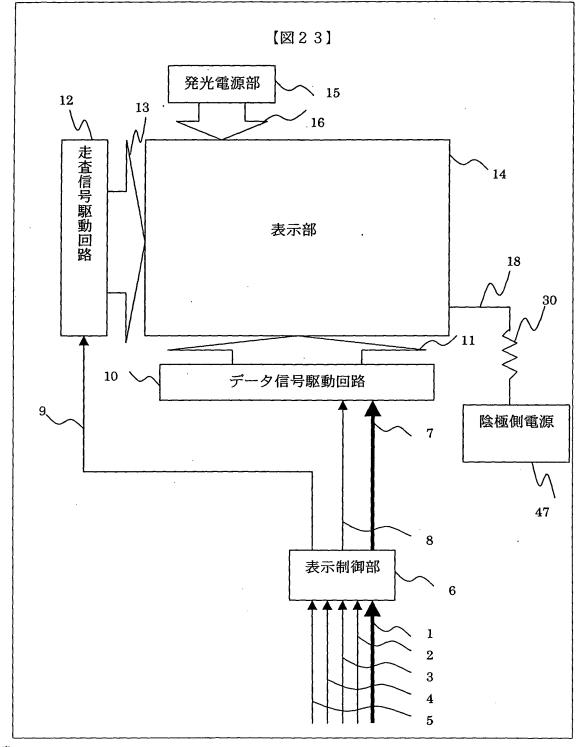
- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 2 0 mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。強りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

are a servindows and a servindows are a servindows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 2、各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出頭端末のイメージリーダ(200 ф1)で読み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(機) 1 4 8 mm) に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 **払**りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12. 表、数式も上記に準じて作成する。

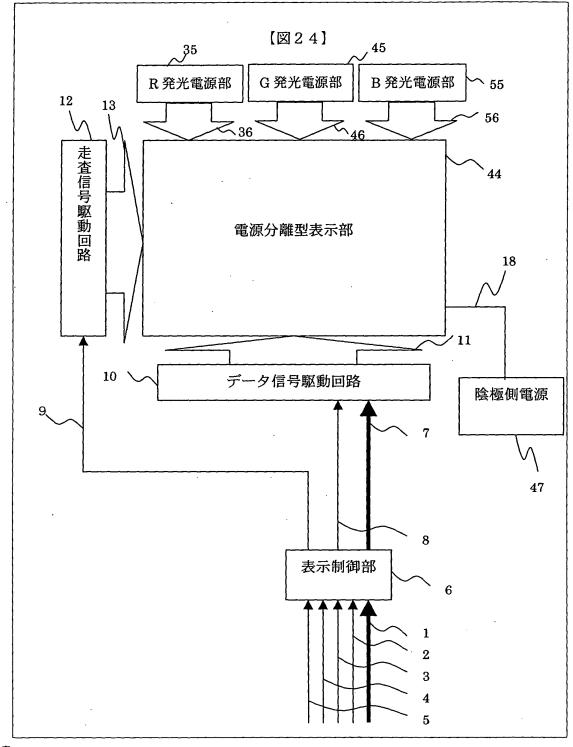


- 1. 発明の特徴を取も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は配入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上傾中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号類に配列する。 10. 図面は電子出線端末のイメージリーダ(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。 独りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 扱、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙

for windows

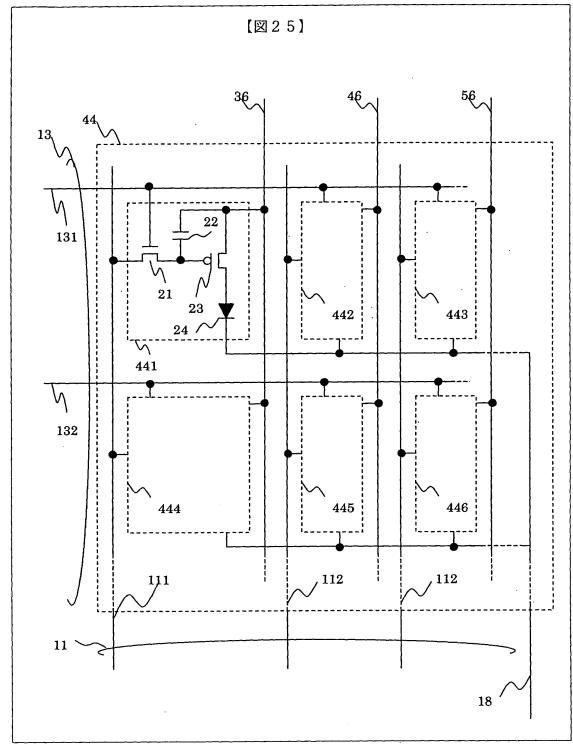


- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。 10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200 ϕ t)で競み込まれるため次の点に配慮する。
- 3. 中心線は記入しない。
- 4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、周一の符号を各図に付ける。
- 7、図面は上記枠内((縦) 2 1 5 mm×(横) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
- b. 断面を示す部分には、ハッテングを施す。 塗りつぶしてはならない。
- 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
- 12、 役、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙

for windows



- 1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
- 3. 中心線は配入しない。
- 4. 符号(アラピア数字)は引出線を引いて記入する。
- 5. 符号は〇枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
- 6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
- 7. 図面は上記枠内((税) 2 1 5 mm×(税) 1 4 8 mm)に納める。
- 8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。

- 9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
- 2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号類に配列する。 10. 図面は電子出顧端末のイメージリーダ(200 切り)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。途りつぶしてはならない。
 - 11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
 - 12. 扱、数式も上記に準じて作成する。